

地域の伝統と歴史を受け継ぐ学校

本校は、天童市の南西部に位置し、児童数 185 名の創立 141 周年を迎える学校です。伝統と歴史があふれる地域で、教育活動にも地域の素材を取り入れています。

相撲大会

5 月には相撲大会が行われます。休み時間には 6 年生が、下級生に稽古をつけています。そのため、強くて優しい 6 年生は下級生の憧れの存在です。本地区は明治時代に女相撲が発祥した歴史があり、地区民の方の関心が高く、当日は多くの方が応援に来てくれます。



子ども獅子踊り

地区に伝わる「高掬精霊菩提獅子踊り」を子ども用に振り付け直し、3 年生から 6 年生までの児童が取り組んでいます。昭和 57 年に発足し、運動会や敬老会などで披露されています。上級生から一対一で伝統を受け継ぐ心や構えを始め踊りや太鼓、衣装の着方などを教えてもらった、地区の保存会の方から話を聞いたりして、誇りをもって取り組んでいます。



地区オリエンテーリング

全校生が縦割り班に分かれて、城下町の面影を残す地域を訪ねて回ります。そして、地域の方から神社や寺院の歴史を説明してもらいます。コースは 6 年生が考え、班員と協力して問題を解きながら楽しく歩きます。

このような活動を行うことで、地域を知り、地域を愛する心を育てるとともに、地域と連携を図り「開かれた学校」を目指しています。

新風～過去への挑戦、刻め！新たなる歴史～

創立 21 年目の新しいステップ

平成 6 年創立以来、本校は昨年度で創立 20 年の歴史を刻みました。21 年目の新たな神町中の姿を求めて、様々な教育活動を熱く展開しています。「新風 ～過去への挑戦、刻め！新たなる歴史～」とは、そんな想いを込めた本年度の生徒会スローガンです。



龍勢神中

本校のキャッチフレーズは「龍勢神中」。これは、「学校の柱になるものが欲しい。」と考へておられた当時の校長先生が、素晴らしい部活動の活躍を見せた生徒たちに、「まるで天に昇る龍のような勢いだ!」と、その年の干支の龍にちなんで贈られた言葉だと聞いています。以来この「龍勢神中」は、生徒、保護者や地域の方々にも親しまれ、各部の垂れ幕やTシャツなどにも書かれています。本校の生徒たちは、毎年たくさんの競技で東北・全国の舞台に進み、「龍のような勢い」の活躍を見せてくれています。

愛と情熱の教育で夢を叶える

来年度は開校以来最大の 500 名規模になろうとしています。人数が増えるからこそ今年度は「よりきめ細やかに一人ひとりと向き合っていこう。」とこのスローガンを掲げています。定着した「アルミ缶回収」では、その収益金で車いすを贈っています。震災以来続けている東松島市の鳴瀬未来中との交流は、「支え愛プロジェクト」という名のもとに、吹奏楽部が卒業式に友情演奏を行ったことをスタートに、現在は「未来プロジェクト」として、生徒会や部活動の交流試合といろいろな形に発展しています。

